

政権倒し原発ゼロへ

反原連が官邸前抗議

首都圏反原発連合（反原連）は13日夜、首相官邸前抗議を行いました。地震が続く九州から四国、近畿、東海、関東まで延びる活断層「中央構造線」のすぐそばにある伊方原発（愛媛県）の再稼働を狙う安倍晋三政権。参加者から「安倍政権を倒し、原発の稼働をとめ、原発ゼロを実現したい」などの声がありました。

国会正門前でスピーチした神奈川県茅ヶ崎市（51）の牧下圭貴さんは「余震が続く人が避難している。いま動いている川内原発はすぐに止めてほしい。原発のない社会をつくるため、ここで声をあげ、頑張りました」と訴えました。

横浜市の藤野徳子さん（69）は「大きな活断層が目の前にあり、危険だとわかっているのに伊方原発の再稼働なんてありえない。安倍首相は原発に反対する声を聞かない。このまま首相を続けさせるわけにはいかない」。さいたま市の長谷川清さん（56）は「地震がこれからどう展開するのか分からないのだから、川内原発を止め、伊方原発の再稼働はやめるべきです。国民の命を守る姿勢がない

安倍政権を原発をなくすためにも倒したい」と語りました。この日、700人

（主催者発表）が参加。日本共産党の吉良よし子参院議員がスピーチしました。



川内原発の即時停止を訴える参加者＝13日、首相官邸前